

インターアクト部

1月13日（月）に日本赤十字社広島支部の主催で行われた「令和元年度国際交流プログラム」に参加し、韓国の大韓赤十字社忠南支社から派遣された高校生と交流を図りました。

午前中は両国の活動紹介やグループワークを行い、はじめは言葉の壁を感じましたが、時間が経つにつれて意思疎通を図ることができるようになりました。午後は韓国人原爆犠牲者慰霊碑に案内したり、原爆資料館を



一緒に見学したりするなど、広島平和記念公園のフィールドワークを行いました。日韓両国の歴史を学び、普段の学校の中では体験することのできない文化の違いを実体験することができ、有意義な時間を過ごしました。



【2019年度活動実績】

インターアクト部とは、ロータリークラブが支援する地域ボランティアクラブです。また各国の高校のインターアクトクラブと繋がり、国際交流活動も行っています。

現在は、2年生7名と1年生3名で活動しています。主な活動は月1回の例会（部会）の他、校外のボランティアイベントなどに参加しています。それでは、令和元年度の活動を紹介します。

3月30日（土）から4月1日（月）までソウルでの韓国研修旅行に参加しました。ホームステイなどを通して、国や言葉の違いを超えて現地のインターアクト会員の高校生と交流しました。



5月25日（土）に修道中学校・高等学校で、第42回インターアクト指導者研修会が開催されました。今回は「宇宙船地球号のために自分達ができること」というテーマで、広島県内のインターアクト部が集まり、研修しました。本校からも2名の生徒と1名の教員が参加しました。



研修会では、AISEC 広島委員会の指導によるワークショップが行われました。はじめに AISEC 広島委員会の大学生のインターンシップ体験談を聞き、日本には感じることの難しい他国の状況や課題について学びました。その後、SDGs についてのグループワークに参加し、他校の部員と交流を深めながら、これからのインターアクトの活動について考えました。

このワークショップでは、「持続可能な開発目標」である SDGs のカードゲームを行いました。一つの課題に対して様々な視点から解決方法を考え、時に奇想天外とも思えるアイデアを出し合っていくワークショップで、他校のインターアクト部員との交流が深まりました。一つの課題に対して背景を知り、その解決のために自分ができることを考える時間はとても有意義なものになりました。

7月27日（土）から28日（日）には、第43回インターアクト地区大会が山口県防府市にて行われました。『夢と志 ～先人に学び、未来を切り開こう～』という大会テーマのもと、講演の聴講やフィールドワーク、グループワークを通して、自分の住む地域の理想の姿について考え、地域のためにできることを考えました。広島・山口両県のインターアクト部の高校生が交流し、さまざまな意見を出し合うことで、新しい見方に気づき、刺激の多い2日間となりました。



9月21日（土）に、福岡県築上郡上毛町において「広島・長崎爆心地中間点上毛町ー未来へつなぐ平和の架け橋事業」の平和式典が開催されました。上毛町は広島市と長崎市の爆心地中間点にある町です。被爆樹木2世記念植樹式やモニュメント除幕式にも参列し、貴重な体験をするとともに、世界の恒久平和の尊さを改めて実感しました。



12月21日（土）に、柏の実苑年忘れクリスマス会に招待していただきました。ダンスパフォーマンスを披露するとともに、利用者様グループの出し物に飛び入りで参加させていただき、交流を深めました。

また、午後には東南ロータリークラブの会員様と一緒に、広島パルコ前にて募金活動を行いました。今回ご協力いただいた募金は、社会福祉法人広島県共同募金会を通じて赤い羽根共同募金に全額寄付いたします。



※研修資料より抜粋



インターアクトとは？
インターアクトは、12歳から18歳までの青少年のための奉仕クラブです。同世代の参加者と交流を深め、楽しく活動に参加しながら、地域に役立つボランティア活動に参加し、世界について学ぶこともできます。インターアクトクラブは月に2回、例会を開き、地元のロータリークラブがスポンサーとして支援します。（『インターアクト 提唱ロータリークラブとアドバイザー向けガイド』より抜粋）